

生産現場で生産管理等に従事する指導的・中核的な役割を担う方へ

生産現場のための実践作業標準 講座

日時	令和7年 10月 7日(火)～ 8日(水)			9:30～16:30 (昼休憩 1時間)
会場	産業人材育成センター倉吉校 3階視聴覚室 (倉吉市福庭町二丁目1番地)			
講師	KID生産コンサルタント 唐澤 良洋 氏 (からさわ よしひろ) [講師プロフィール] ・ソニーの工場にて15年間工場管理(IE部門5年、製造部門5年、海外部門5年)に従事し、現場第一線を経験。 ・その後、KID生産コンサルタントを設立し、企業の現場改善の指導及び研修講師として実績を積み20年目。 ・「人間性の向上を通じて、生産性を向上する」ことを指針とし、スリムで高効率な生産体制を実現する生産革新の専門家。			
目的	自社固有の生産・加工技術や技能を伝承するには作業の標準化、体系化を進めることが重要です。その重要性を理解すると共に実践的な作業標準の作り方及び活用技法を習得します。			
養成する能力	現場力の強化及び技能継承ができる能力			
締切り	令和7年 9月 4日(木) 15時まで	定員	15名 (先着順)	
受講料	8,000円/人			
持ち物	筆記用具			
申込み手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス] (以下のURL) からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=17386 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定しておりません。申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。 (定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限までに入金してください。			



講座概要

1. 仕事の基本と標準化

- (1) 生産3原則と改善要素5M
- (2) PDCAと仕事の標準化
- (3) 生産現場の標準化 [演習1]

2. 作業標準の作り方と伝え方

- (1) 作業の手順化と急所の抽出法
- (2) 作業標準を相手に伝える4段階 [演習2]
- (3) 標準を守る習慣を植え付ける方法

3. 設備保全と標準化

- (1) 設備保全の3本柱
- (2) 設備4大口と改善指標
- (3) 予防保全の標準化

4. 標準化の事例

- (1) 生産現場の事例紹介
- (2) 事例をもとに意見交換

5. 生産ゲーム

- (1) 作業改善と標準化にトライ [演習3]
- (2) 改善効果の定量化と定着化
- (3) 現場改善の着眼点

<産業人材育成センター倉吉校会場案内>

